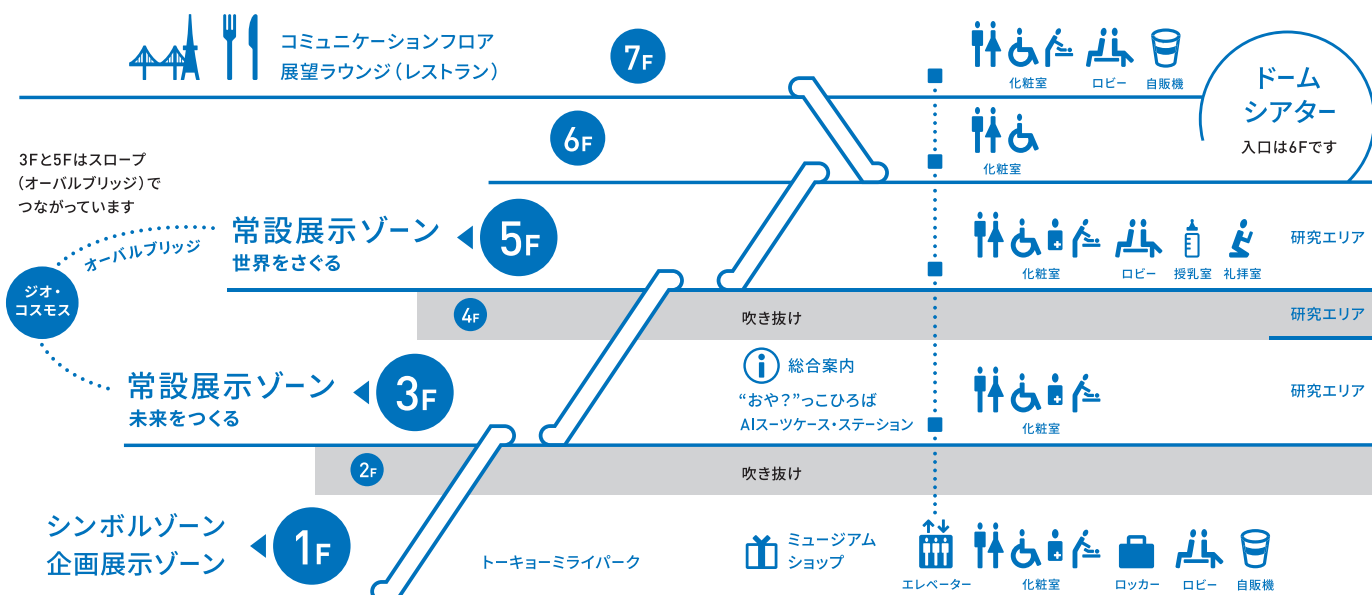


日本科学未来館は、
私たちのこれからに関わる
先端科学技術を体験しながら、
多様な人々とともに
「未来」をつくりだすことを目指す
ミュージアムです。



3F・5Fの常設展示ゾーン、および6Fドームシアターは
有料エリアです。チケットを購入してご入場ください。
※1Fの企画展示ゾーンは開催内容によって有料場合があります



無料Wi-Fiサービスをご利用いただけます(事前登録が必要です)。
Miraikan Free Wi-Fi、東京お台場 Free Wi-Fi



一部の展示を除き、個人で
楽しめる範囲での撮影は可能です。

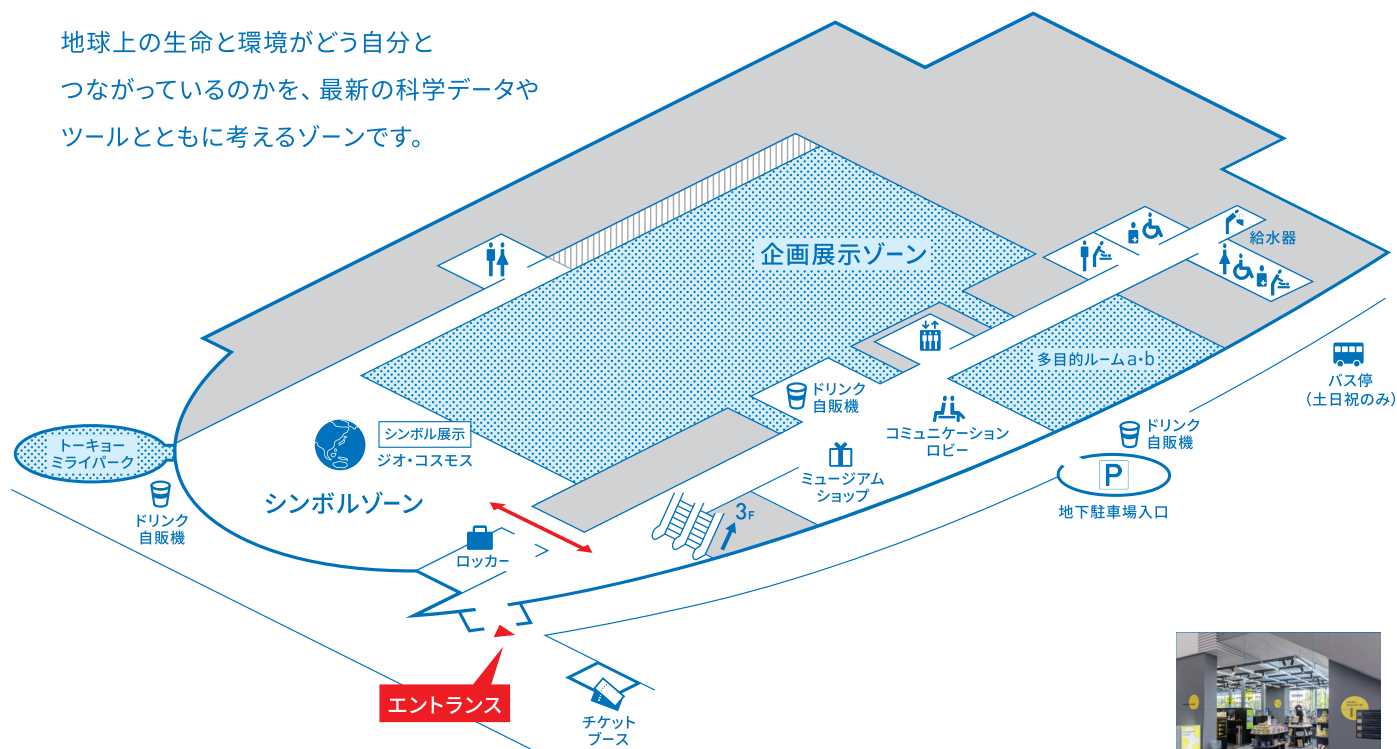


指定場所以外での
飲食はご遠慮ください。

1F

シンボルゾーン 地球とつながる

地球上の生命と環境がどう自分と
つながっているのかを、最新の科学データや
ツールとともに考えるゾーンです。



ミュージアムショップ



コミュニケーションロビー



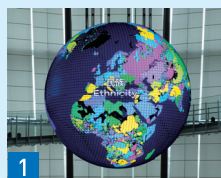
トーキョーミライパーク
新たなテクノロジーを体験し、
未来の東京をつくるプロジェクトです。



シンボル展示 ジオ・コスモス

直径6mの地球ディスプレイ。人工衛星
のデータを用いて、刻々と変わる地球の
様子を映しだします。球体を生かした
さまざまなコンテンツも上映しています。

- 1 Into the Diverse World 多様な世界へ
- 2 未来の地層



1

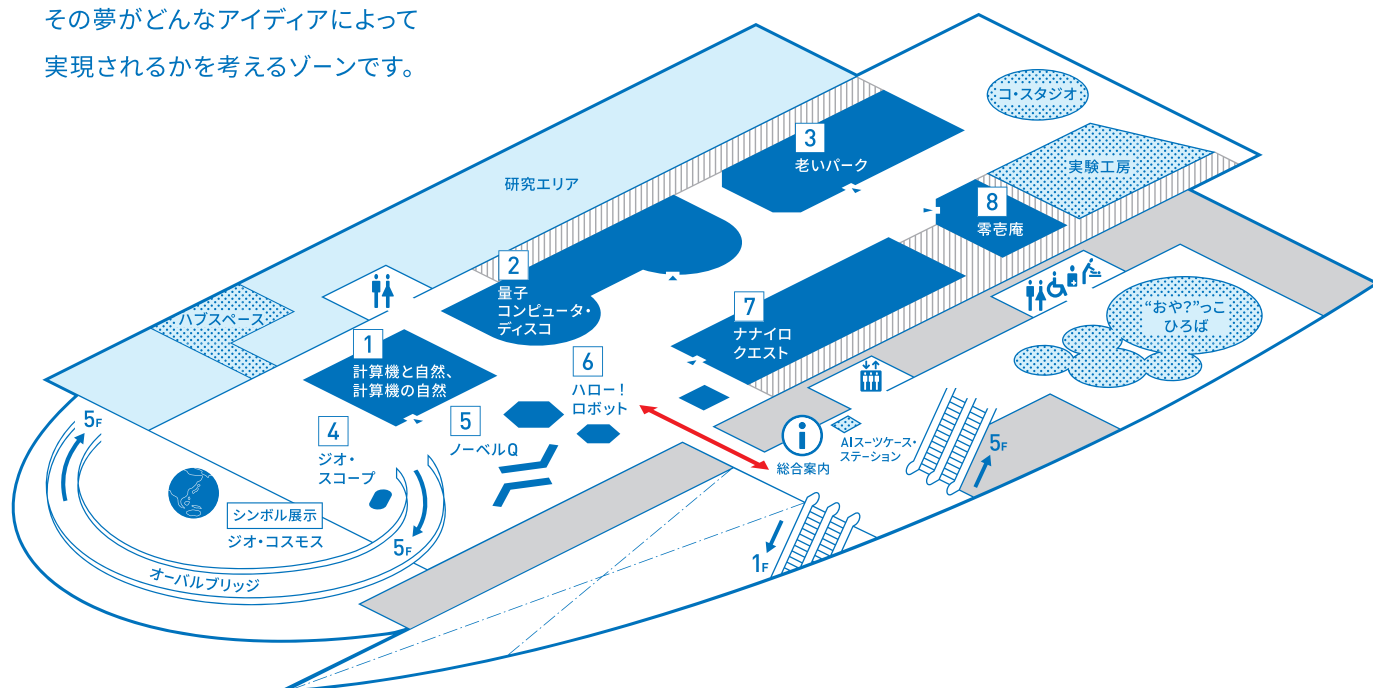


2

3F

常設展示ゾーン 未来をつくる

私たちが望む社会や暮らしのかたちを描きだし、
その夢がどんなアイデアによって
実現されるかを考えるゾーンです。



1 計算機と自然、計算機の自然



2 量子コンピュータ・ディスク



3 古いパーク



4 ジオ・スコープ

“おや？”っこひろば
科学的な「モノの見方」
を親子で体験できる
スペースです。



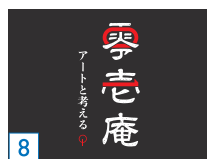
5 ノーベルQ
ノーベル賞受賞者たちからの問い



6 ハロー！ロボット

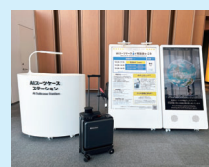


7 ナナイロクエスト
ロボットと生きる未来のものがたり



8 零言庵

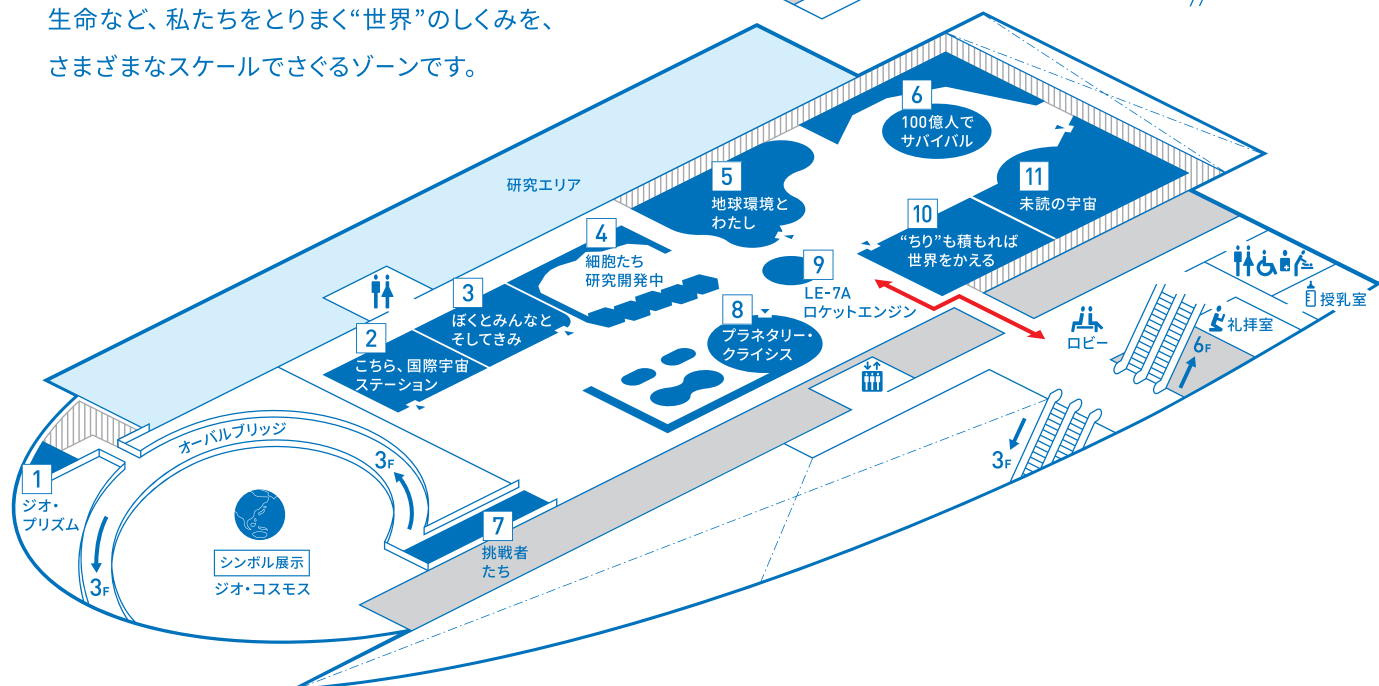
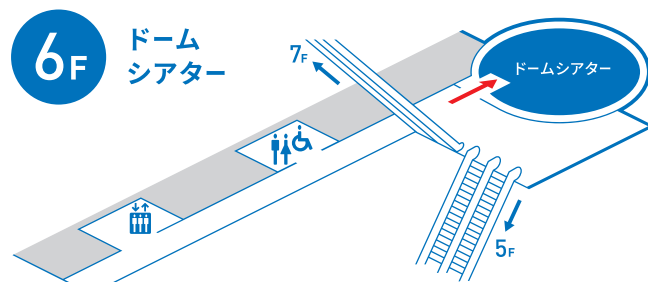
AIスーツケース・
ステーション
ナビゲーションロボット
「AIスーツケース」の
体験プログラムを
実施しています。



5F

常設展示ゾーン 世界をさぐる

宇宙、地球環境、そしてそのなかで育まれる生命など、私たちをとりまく“世界”のしくみを、さまざまなスケールでさぐるゾーンです。



1 ジオ・プリズム



2 こちら、国際宇宙ステーション



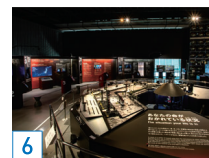
3 ぼくとみんなとそしてきみ
未来をつくりだすから



4 細胞たち研究開発中



5 地球環境とわたし



6 100億人でサバイバル



7 挑戦者たち



8 プラネタリー・クライシス
これからもこの地球でくらすために



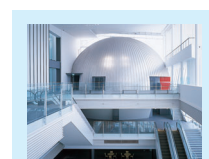
9 LE-7A ロケットエンジン



10 “ちり”も積もれば世界をかえる
宇宙・地球・生命の探求



11 未読の宇宙



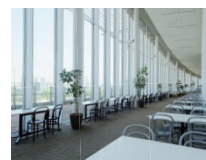
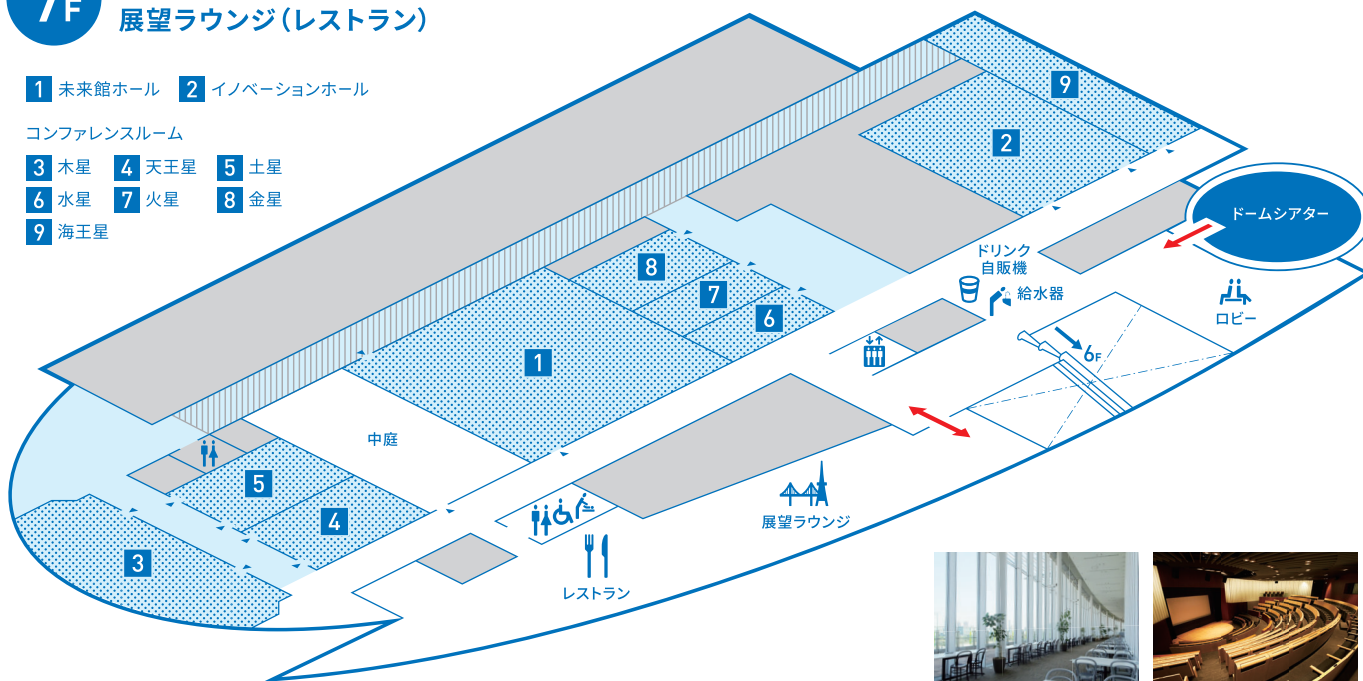
ドームシアター

7F コミュニケーションフロア 展望ラウンジ(レストラン)

1 未来館ホール 2 イノベーションホール

コンファレンスルーム

3 木星 4 天王星 5 土星
6 水星 7 火星 8 金星
9 海王星



展望ラウンジ(レストラン)



未来館ホール

日本科学未来館について

2001年7月に開館した国立の科学館で、
国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が運営しています。



Mirai can _!
未来は、かなえるものへ。

スローガン Mirai can _! 未来は、かなえるものへ。

たくさんの人の「かなえたい未来」が集まり、多様な人たちとともにそれを実現していくプラットフォームになることを目指すスローガンです。「Mirai can」に続く空白には、一人ひとりが自分の事として、かなえたい未来を想像してほしいという想いを込めています。

科学コミュニケーター

日本科学未来館には、展示の企画や解説、イベントなどを担当する「科学コミュニケーター」というスタッフがいます。来館者をはじめさまざまな立場の人と対話をしながら、これからの社会で私たちが科学技術とどうつきあい、未来を築いていくのかを考える役割を担っています。



研究エリア

展示ゾーンの脇には約10の研究プロジェクトが常駐。未来館をフィールドとした実証実験や交流イベント等を開催し、来館者とともに研究開発を行っています。また「未来館アクセシビリティラボ」では、企業や大学と協働し、視覚障害者の未来の生活を支える科学技術の研究開発を行っています。

